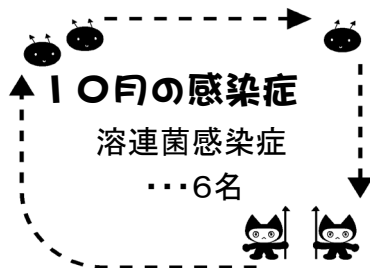


ほげんたより 11月

太陽の子保育園 2019年11月号



1歳6ヵ月児健診

11月1日 (金)

対象：平成30年4月生

3歳児健診

11月22日 (金)

対象：平成28年10月生

インフルエンザが流行する季節になりました

(原因) インフルエンザウイルスABC型の接触感染、飛沫感染により、鼻腔・咽頭から侵入し、上気道の粘膜上皮細胞で増殖する。また、呼吸器症状のある患者からの気道分泌物により接触感染もおこる。潜伏期間は1～3日。

(症状) 悪寒、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛が突然あらわれ、続いて咳嗽、鼻汁などの上気道炎症状があらわれる。消化器症状を伴うこともある。合併症がなければ2～4日で解熱し、軽快する。発症して3～4日は感染力がある。

(合併症) 細菌感染を重複すると重篤化しやすい。学童では、年間50～100万人がインフルエンザに罹患し、インフルエンザウイルス脳炎・脳症を合併するのは、100～300人とされている。

(治療) 保温・安静のほか、上気道症状に対して対症療法を行う。初発症状発来後48時間以内であれば、抗ウイルス剤が有効である。

・合併症としてよく見られるのは、肺炎です。体力のない乳幼児が肺炎をおこすと、命にガガわることもあります。

・インフルエンザは発症時であれば、薬により症状の軽減と罹病期間の短縮が期待できます。早めに受診することが大切です。

・インフルエンザワクチンの予防効果はほかのワクチンと比べるとそれほど高くなく、予防接種だけでは、感染を防ぐことができません。しかし、予防接種は重症化予防に一定の効果あるとされています。免疫の持続期間は約5ヵ月とされています。また、接種してから抗体ができるまで2～3週間かかります。予防接種を受ける場合は、



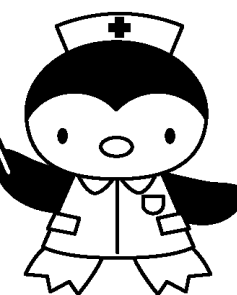
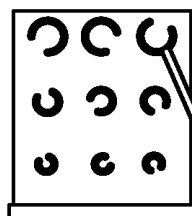
かぜを治せない? かぜ薬

かぜをひいたとき、市販の薬や、病院で処方された薬を飲むことがあります。

これらの薬は、せきや鼻水、くしゃみ、発熱などの症状をやわらげるためのもので、かぜの原因であるウイルスをやっけるものではありません(抗インフルエンザウイルス薬を除く)。つまり、かぜ薬でかぜを治すことはできないのです。

かぜを早く治したいなら、薬を飲むよりも、早めに休養をとることです。体を休めることで、ウイルスと戦う力を助けることができます。

かぜ薬の役割をきちんと知って、じょうずに利用しましょう。



やけど

冬場は特に、やけどの原因となるようなものたくさんあります。周りの環境や子どもの状況に気を配りましょう。やけどをしたら、すぐ流水で冷やします。

応急処置の仕方

やけどには1度、2度、3度と程度があります。

1度…赤くなり、ひりひりします。

2度…水泡ができ、痛みも強いです。

3度…感覚がない、皮膚が黒くこげたり白く変色したりする。

※1度の軽症以外は病院へ行きましょう。

●手足のやけどの場合

流水で30分くらい冷やし、痛みや熱さが感じられなくなっ

たら病院へ。

●胸・おなかのやけどの場合

①すぐ水をかけるか、水風呂につけて冷やします。

②服は脱がせるか切るか、そのときの状況によります。

③やけどの部分に軽くガーゼを当て、病院へ。

迷わず病院へ

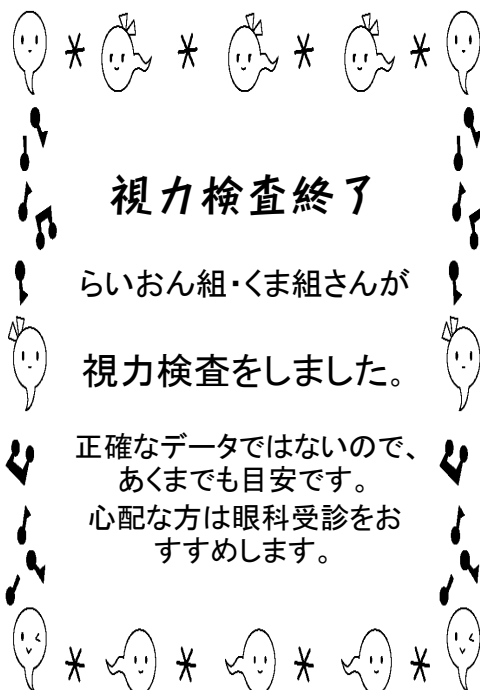
やけどの広さが、大人の手のひら以上の大きさがある、皮膚が白く、皮がむけている、顔、目、鼻、口、外陰部のやけど、低温やけど、水ぶくれができた、数日たち、化膿してジュクジュクしている、2度以上のやけど、このような場合はすぐ病院に行きましょう。

※やけどの治療を勝手にやめると、跡が残ることもあります。医師の指示に従いましょう。また、やけどの原因を探り、危険を取り除きましょう。

アレルギーには過敏にならずに

最近の食品には、アレルゲンとなる成分が明記されるようになりました。また、飲食店のメニューなどに書かれているのもよく目にします。

いろんなところにたくさん書かれているのですが、過敏になるのは要注意。お子さんにはバランスのよい栄養の摂取が大切なので、気になる症状が出るようなら最寄りの病院で相談し、アレルゲンを特定してもらいましょう。制限するのはそれからです。



視力検査終了

らいおん組・くま組さんが

視力検査をしました。

正確なデータではないので、あくまでも目安です。心配な方は眼科受診をおすすめします。

